



町のすがた

(1月1日現在)

第310号

人口	男	3,346人 (+8)
	女	3,662人 (+18)
	計	7,008人 (+26)
世帯数		1,794 (+8)
()は12月1日との比較		

平成6年1月19日
 発行 新潟県三島郡三島町役場
 ☎ (0258) (代) 42-2221
 印刷 長岡市 あかつき印刷



人口7000に到達

まず最上段をご覧ください。三島町の人口が、先月より二十一人増え、七千人の大台を突破しました。

町の住民登録者数が七千人を超えたのは、昭和五十年三月に七、〇一人を記録して以来、十八年十か月ぶりのことになりました。

三島町は町制施行当時、八千人余りの人口がありました。その後、以後減り続け、昭和六十二年九月には、六、八〇八人まで落ち込みました。その後、増加傾向となり、ついに七千人台に回復したものです。

七千人目の町民に記念品贈る

町では、七千人目の町民となつた戸嶋美奈子さんに、このほど記念品を贈呈しました。戸嶋さんは、昨年末、秋田県から鳥越に引っ越して来られた方です。

勇壮に消防団出初式



新年を迎え、無火災、無災害を祈願

時折小雪がちらついていた九日、町体育館で消防団出初式が行われました。式典は、幹部を始めとするおよそ二四〇名の団員が制服姿で参加し、団旗への敬礼でスタート。町長(消防長)、河内消防団長から「町民の尊い生命、貴重な財産を火災から守るため、一層の努力をお願いしたい」と、激励の訓辞がありました。この後、新春の空に向けて一斉放水が行われ、出席者全員が無火災、無災害の願いを新たにしていました。

恒例

書初展

恒例の小・中学生書初展が、二十三日まで町体育館で開催されています。各学年の特選人賞者は下記のとおりです。



- ◇小学校の部
 - 三年 倉重 志穂美(脇小)
 - 四年 塚田 明恵(脇小)
 - 五年 谷川 祐輔(日吉小)
 - 六年 小方 亜希(日吉小)
- ◇中学校の部
 - 一年 永村 友香里
 - 二年 稲垣 奈々
 - 三年 今井 那宝子

編集後記

戌年の新春を迎えました。盲導犬や猟犬、番犬や警察犬など、犬は、人間社会でさまざまな「貢献」をしています。しかし、一番身近なのは、やはり愛玩犬。手の平に乗るようなチワワから、体重百キロを越すセントバーナードまで、犬の種類は四百種類以上もあるのだそうです。

ところで、正月の遊びにつきものの「犬棒カルタ」。あの「犬も歩けば棒に当たる」はどういう意味だと思いませんか。本来は「出歩けば災難に遭う」ということです。しかし、最近「歩き回ればチャンスに会える」と解釈する人が多いいとか……。いずれにしても、今年はいいチャンスをつかみ、「ワン」ストップ上の「ワン」ダフルな年にしたいものですね。

税

今月の納税

町民税・県民税	第4期分
国民健康保険税	1月分
国民年金保険料	1月分
水道使用料	1月分
ガス料金	1月分

季節



男の子はたこ揚げ、女の子は羽根つき……お正月の楽しい遊びですね。

ところが、電線や車のために、昔のように道路で遊ぶことができなくなりました。また、原っぱも少なくなったため、近ごろのお正月は、たこ揚げや羽根つきをする子どもが少なくなりました。たこも羽子板も、最近では装飾品として飾られることが多いようです。

たこ揚げの季節は、各地によってさまざまです。二月や四月、ところによっては、端午の節句の行事とされているところもあります。有名な浜松のたこ揚げは、五月の連休です。たこという名も、いか、いかのぼり、たかなど、地域によっていろいろあります。

お正月は、ついテレビやテレビゲームで遊んでしまい、運動不足になりがちです。昔のように、風の中をたこ糸を持って、思い切り走り回るのもいいですね。



新年のごあいさつ

三島町長

河内 忠彦

町民の皆様におかれましては、麗しい、よき新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

希代の冷夏により戦後最悪の凶作となった米作、北海道南西沖地震、九州地方を襲った集中豪雨など、昨年は、自然災害で多大の被害と犠牲者を出し、国政においては、自由民主党から連立与党への政権交替、自社両党による五十五年体制が崩壊するという激動の年でありました。また、一時帰休、人員削減といった深刻な雇用情勢が伝えられる平成大不況は、いまだにその出口が見えませんが、長引く不況は、法人税を始めとした税収の落ち込みを招き、近年、地方自治体は厳しい財政運営を強いられています。

さて、経済、国政の先行き不透明な年を迎えた中、三島町においては日吉小学校新校舎が来る三月に完工予定で、本年はそれに引き続き、屋内体育館の改築に着手いたします。

庁舎周辺の開発につきましては、昨年、住宅用地八十区画を売り出したところ、好評のうちに完売となりました。今後、区域内幹線道路や下水道、都市公園整備など、関連事業を継続して実施いたします。

また、蓮花寺地区特定利用斜面保全事業に併せての自然公園整備、本年から年次のに進む県道と板垣原線の拡幅工事では、歩道に街路樹を植樹するなど、ゆとりある空間づくり、うるおいのあるまちづくりを進めます。

加えて、待望の新中永トンネルの掘削工事も、本年着工されます。約七十億円の巨費を投じ、平成十四年の完成を目指して進められる大工事となりますが、一年も早く完成するよう、国・県への陳情を重ねたいと考えております。

厳しい財政事情の中、ほかにも公共下水道事業の更なる推進、南部地区ほ場整備事業など、大きなプロジェクトを抱えています。健全財政を堅持し、職員一丸となって効率的な行政運営にまい進する一方、各大字から要望のあった生活関連事業につきましても、できるものから順次採択し、町勢伸展のため積極的に取り組む所存でございます。

年頭にあたり、町民皆様のご多幸とご健勝を祈念いたしますとともに、町政に対するご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のごあいさつといたします。



収入役に

青柳昇氏(再任)

昨年十二月二十二日に召集された町議会定例会において、青柳昇氏(鳥越、六十二歳)が収入役に再任されました。任期は、平成六年一月一日から四年間。



年頭のごあいさつ

三島町議会議長

小林 太左衛門

新春を迎え、町民皆様のご繁栄に対し、心からお慶び申し上げます。旧年中は町議会に対し格別のご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

顧みて昨年は、地震や集中豪雨など天災が、北海道奥尻島九州地方に多大な被害をもたらした。長雨冷夏が稲作を直撃いたしました。

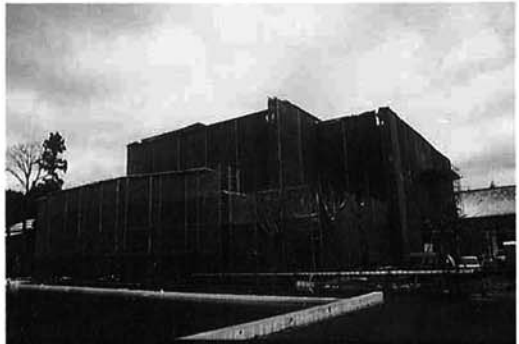
また、ガットのウルグアイ・ラウンドで示されたコメ市場の部分開放受け入れを、細川内閣が正式決定、米作を基幹産業とする三島町にとりまして、誠に憂慮すべき状況となったのは皆様方ご承知のとおりであります。

まさに激動の年、三島町では多目的集会施設「みしま中央会館」が九月に完成。教育施設として日吉小学校舎の改築に着手し、現在工事は八十パーセントほど進みました。次世紀を見据えた市街地開発である「中央土地区画整理事業」が順調に推し進め、下水道処理区域も拡大するなど、生活基盤の整備が着々と進みました。ほかにも、蓮花寺急傾斜地の跡地整備や南部ほ場整備など、諸事業が順調に進んでいきます。これもひとえに町民各位のご協力によるものと、心から感謝申し上げます。

さて、立派な施設、建物が数多く建ち、道路改良も進んでいる三島町は、今後こうした建設的進捗だけではなく、ソフト事業にも目を向けなければなりません。特に急激に進む高齢化社会を受けた福祉対策を重点的に進めなければならぬと考えております。

政治改革をめぐる混沌とする政局、長びく景気低迷など、多事多難な一年であります。議決機関である町議会は、執行機関である町当局と立場を異にしつつも手を携え、困難な時を乗り切っていくかなければならぬと考えております。本年も町議会に対する変わらぬご協力、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

最後に平成六年が皆様方にとって健康で幸せ多い年でありますようにご祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。



新春のごあいさつ

首都圏みしま会会長

結城 栄一

明けまして、おめでとうございます。

本会員の皆様方及び郷土三島町の皆様方におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

一昨年五月、百四十余名の会員で設立された「首都圏みしま会」は、その後入会者が増え、会員数は現在、二〇〇余名を数えるまでになりました。郷土三島町と首都圏との交流を目的とする本会の趣旨に、故郷を思う多くの方々からご賛同をいただきましたこと、まづもって深く感謝申し上げます。

昨年五月に開催いたしました総会には、多数の会員の皆様から参加いただいたほか、多忙のところ、河内町長、小林町議会議長など、町幹部の皆様からもご出席いただき、一昨年にも増して盛会裏に総会を催すことができました。十月には、初めて都内から三島町に場所を移して「ふるさと交流会」を開催したところ、地元町民の方々から多数ご参加いただきました。懐かしい顔、幼少のころの面影を見つけ出し、旧交を温めることができたうえ、ふるさとソングの「みしま音頭」「みしま慕情」などの民謡も披露いただき、楽しい一時を過ごさせていただきました。その厚いもてなし、ご厚情に厚くお礼申し上げます。

さて、長引く不況のあおりを受け、経済活動が全般にわたり停滞する中、三島町においては、道路、下水道など、都市整備が進み、庁舎周辺の宅地造成事業も順調に進んでいると伺っています。これらの変貌は私どもが幼少のころを思い浮かべると目を見張るものであり、故郷三島町が活性化に向け、確実に動いていることは、私ども会員にとりまして、ご同慶に耐えないところでございます。

終わりに、郷土三島町の益々の隆盛と、会員の皆様及び三島町民の皆様方のご多幸を心より祈念いたしまして、新春のごあいさつとさせていただきます。

※平成6年度の首都圏みしま会総会は5月29日(日)に上野精養軒で開催します。

拠点都市地域づくりが



三島町や長岡市など十三市町村は、地方拠点都市の指定を受け、昨年七月に計画の承認を受けました。海、山、平野と、変化に富む構成市町村の特色を生かした都市整備が進められることになりました。

ソフト事業―心の充実

魅力あるまち、住みよいまちづくりには、道路や施設といった生活の利便さ、環境の整備だけでなく、そこに住む人が心の豊かさを感じなければなりません。こうしたことから、県と長岡

地域文化の創造―信濃川文化推進事業

地方拠点都市づくりを文化面からも進めようとするのが「信濃川文化推進事業」です。すでに地域内の市町村長で構成される「信濃川文化推進実行委員会」が発足、事業に取りかかっており、文化庁の助成を受け、今後五年間かけてじっくり取り組むことになっています。

昨年十二月には、地域内の中学生を集め、ミュージカル鑑賞教室を行ったほか、今月十六日には、見附市で、国内有数の歌劇団である二期会を招いての「ニューイヤークンサート」の公演がありました。

音楽に限らず、すぐれた作品や演奏を数多く楽しむことは、いつしか心の中に豊かな財産を残してくれるもの。一人でも多くの人にその楽しみが広がるように、これらの事業は来年以降も、毎年内容を変えて開催することになっています。



蓮花寺A、吉崎Bが優勝

町民混合バレーボール大会

- 恒例になりました町民混合バレーボール大会が、十二月十二日、町体育館と北越銀行体育館を会場に行われました。
- 寒さがひとしお身にしみる中、過去最高の二十九チームが参加。技あり、パワーありの熱戦を繰り広げました。
- 成績は下記のとおり。
- | | | |
|--------|-----|-------|
| ☆Aブロック | 優勝 | 蓮花寺A |
| | 準優勝 | 上岩井A |
| | 第三位 | 七日市A |
| | 第三位 | 藤宮A |
| ☆Bブロック | 優勝 | 吉崎B |
| | 準優勝 | 七日市B |
| | 第三位 | 下河根川B |
| | 第三位 | 上条B |

「長岡地域」の構成市町村
地域面積―約1,110km²
合計人口―約37万人



拠点都市整備の第一歩

新中永トンネルの工事始まる

地方拠点都市整備事業の手始めとして、「新中永トンネル」(三島町大字中永→出雲崎町大字小釜谷間)の工事が始まりました。

標高一五五メートルにある現在の中永トンネル(延長三三九・五メートル)は、幅員が五メートルと狭く、大型車のすれ違いが困難となっています。また、中永→出雲崎町間の国道三五二

号線は、急カーブが多く、急こう配でもあるため、土砂崩れや大雪による通行止め、交通事故がたびたび発生しています。

新しい中永トンネルは、このような不便、事故を解消するためのもの、延長は一、八五二メートル、幅員九・五メートルとなります。

良区間は三・八キロメートルで、総事業費は約七十億円(トンネル部分約六十二億円)となる見込みです。またトンネルの完成は平成十四年の予定となっています。

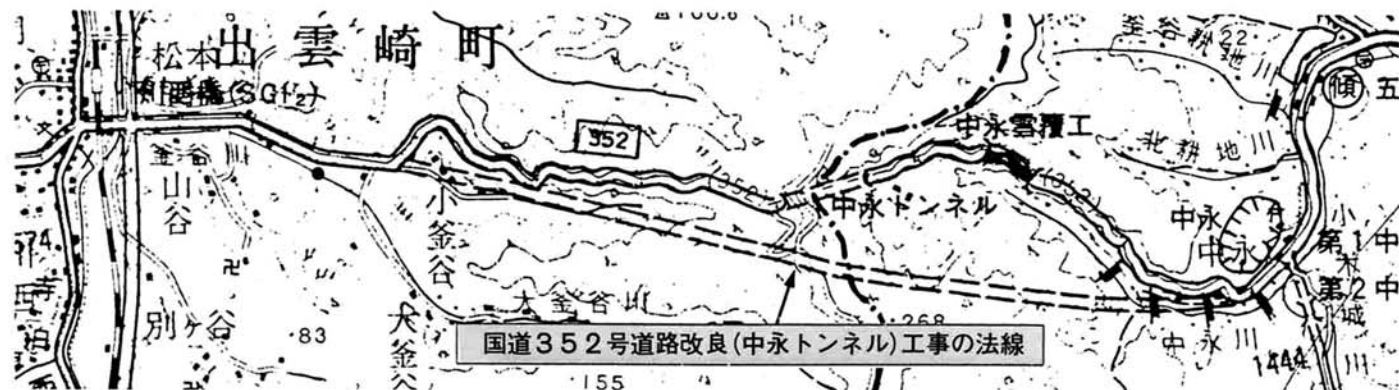
拠点都市整備事業の一つとして位置付けられる事業であることから、町では関係者と一体となって国への陳情活動を通じて、早期完成を目指します。



工事の安全を願い鍬入れを行う町長。(右は出雲崎町長)



現在の中永トンネルは大正十四年に工事が始まり途中、大平洋戦争で中断。終戦後再開され、トンネルが貫通したのは昭和二十六年。三年後の昭和二十九年に、中永線が全線開通となりました。



俳句

- 煤払いゆらゆらゆらりと電気笠
安達 南風
- 一日の話集まる圍炉裏端
松井 草子
- クリスマス孫に目の無き夫婦かな
遠藤 素木
- 三脚も一つの道具煤払い
名塚 清一
- 田の中に残る田母木や冬の虹
中村 遊雲
- 雨よんで気のりのしなない煤払い
小林 柊子
- 熟し柿鈴なりのまま早果つる
遠藤 カズ
- 短日のすれ違うまで知らぬ人
大滝 蒼風
- 雑用の数増えにけり十二月
結城 老松
- 炉火ぬくし面立ち似たる一家族
原 游子
- 寒波来る深くかくれし竜の玉
柳橋 比呂志
- 頬被り目だけ物言ひ煤払い
小林 守門
- 三日月の研ぎ澄まされし冬の空
難波 千代女
- 守門まつつつ抜けの空初明り
遠藤 枯骨
- 行く雲の早き流れや大根引
木戸 忠津

短歌

ゴム紐をつきて潜らす娘の脚の白さが眩し裾の揺るれば 田口半制

日	曜	行	事
1 月			
20	木	リハビリ	13:00~ みしま園 ●大寒 町書き初め展(23日まで) 町体育館
21	金	糖尿病教室	もみじのつどい 13:30~ 保健センター
22	土		
23	日		
24	月	のぎくの集い新年会	11:00~ 交流センター
25	火	中条・大野健康教室	9:00~ 大野寿荘 少年少女スポーツ教室 19:00~ 町体育館 心配ごと相談 13:30~16:00 役場相談室
26	水		
27	木	鳥越健康教室	9:00~ 鳥越センター リハビリ 13:00~ みしま園
28	金	精神保健相談	13:30~ 保健センター
29	土		
30	日	町民スキーのつどい	六日町八海山スキー場
31	月	テニス教室(屋内)	19:30~ 町体育館
2 月			
1	火	救急法講習会(昼の部)	13:30~ 中央会館(1F 研修室) 少年少女スポーツ教室 19:30~ 町体育館 ●初午
2	水	糖尿病のつどい“糖止会”	13:30~ みしま中央会館 心配ごと相談 13:30~16:00 役場相談室
3	木	リハビリ	13:00~ みしま園 ●節分
4	金		●立春
5	土		
6	日		
7	月	テニス教室(屋内)	19:30~ 町体育館
8	火	七日市血圧相談会	13:30~ 七日市公民館 救急法講習会(夜の部) 19:30~ 中央会館(1F 研修室) 少年少女スポーツ教室 19:30~ 町体育館 心配ごと相談 13:30~16:00 役場相談室
9	水	糖尿病教室④	13:30~ 保健センター
10	木	鳥越健康教室	13:30~ 鳥越センター リハビリ 13:00~ みしま園
11	金	建国記念の日	
12	土		
13	日		●二の午
14	月	テニス教室(屋内)	19:30~ 町体育館
15	火	エアロビクスダンス教室	19:30~ 中央会館(1F ホール) 少年少女スポーツ教室 19:30~ 町体育館 心配ごと相談 13:30~16:00 役場相談室
16	水	藤宮老人クラブ健康教室	15:00~ 藤宮センター 所得税の確定申告(~3月15日) 綱引審判講習会 19:30~ 町体育館
17	木	リハビリ	13:00~ みしま園
テニス教室(屋内) 1/31, 2/7, 14, 21, 28 19:30~ 町体育館 救急法講習会 2/1(昼の部) 13:30~ 中央会館 2/8(夜の部) 19:30~ 中央会館 エアロビクスダンス教室 2/15, 24, 3/1 19:30~ 中央会館 町民綱引大会 2/27 町体育館			

障子と襖の張り替えに挑戦してみませんか

お宅の障子は破れていませんか、プロから障子と襖の張り替えを習って、明るい部屋にリフォームしませんか。

みしま交流センターにおいて、障子と襖の張り替え講習会を行いますので、奮って参加ください。

▽実施日時
●障子張り替え講習会
二月十九日(土)
午前九時~十二時

襖張り替え講習会

二月二十六日(土)
午前九時~午後四時

▽場所
みしま交流センター

▽募集人員
各講習会とも十五名(先着順)

▽会費
一千元

▽服装
スラックス若しくはトレパン

▽申し込み
一月末までにみしま交流センター(☎4212223)へ。

持参品等詳細については後日連絡します。

糖尿病のつどい“糖止会”ご案内

冬、農作業もないし、寒くて動きたくないと思いませんか。運動しようと思っても足腰が痛くて動けない人おられません。今回は楽しく動いて血管をきれいにしましょう。

日時 2月2日(水)13:30~15:30
ところ みしま中央会館ホール
講師 三島病院リハビリの先生 大淵哲也氏
※動きやすい服装でおいで下さい。

保健行事のおしらせ

対象	内容	日時	会場
3.9~12月 出生児	2才児歯科健診	1月26日(水) 受付13:30~13:45	保健センター
5.6~8月 出生児	乳児健診	1月31日(月) 受付13:15~13:45	
5.3~4月 出生児	乳児相談(8~9ヵ月)	1月21日(金) 受付9:00~9:30	
5.9~10月 出生児	乳児相談(3~4ヵ月)		
3.10~4.9月 出生児	予防接種 麻疹	2月15日(火) 14:00~15:00	

乳児相談は、健診前の赤ちゃんの発達チェックをしますのでおいで下さい。特に3~4ヵ月乳児相談対象の方は、小児ガン(神経芽細胞腫)検査について詳しい説明と検査セットと医療期間での乳児健診無料券をお渡ししますので、必ずおいで下さい。



全国学校給食週間
(1月24~30日)

お知らせ

照会は電話で

- 三島町役場 42-2221(代)
- ガス企業団 42-2671
- 水道企業団 72-2259
- 消防斎場組合 72-2572

火事・救急 119

**一年間よろしく
新しい区長さん**

平成六年の各大字区長が次のとおり決まりました。

▽鳥越 中村正夫
▽七日市 中野健次
▽上岩井 安立鐵彌
▽吉崎 小林正男
▽脇野町 大桃健三
▽中条 片桐桂司
▽新保 米持傳夫
▽大野 草分春男
▽下河根川 片沼市郎
▽瓜生 片桐忠史
▽蓮花寺 東樹敬
▽中永 外川新一郎
▽上条 田中清栄
▽逆谷 斎藤功
▽気比宮 青柳孝一
▽藤川 平松敬三
▽宮沢 平原信

(敬称略)

三島町では、厚生大臣から斎藤イトさん(七日市)に主任児童委員が委嘱されました。お子さんの問題や児童の健全育成活動などについて、身近な児童委員や主任児童委員に気軽にご相談ください。

民生委員、児童委員に古井丸イツさん(七日市)

七日市地区担当の児童委員、民生委員が、平成五年九月一日

免除される一例(表1)

サラリーマン世帯で4人家族の場合(学生1人)

	国公立	私立
親と同居	年収約615万円以下	年収約700万円以下
親と別居	年収約675万円以下	年収約760万円以下

(表2)

免除を受けた月の属する年度	条率
前3年度	0.055
前4年度	0.113
前5年度	0.174
前6年度	0.239
前7年度	0.307
前8年度	0.379
前9年度	0.455
前10年度	0.535

保険料の免除を受けた期間があると、将来受ける年金がその期間分減額されてしまいます。そこで、生活にゆとりができたときに、免除を受けた期間分の保険料を「追納」して、より満額に近い年金を受け取ることができます。

学生の皆さんも国民年金に加入しましょう

平成三年四月から、二十歳以上の学生は全員、国民年金に加入することになりました。これにより、将来、満額の老齢基礎年金が受けられるとともに、

国民年金コーナー



申請、問い合わせは住民課福祉係へ

在学中の事故などで障害者になったときには障害基礎年金が受けられるようになりました。保険料は月額一〇、五〇〇円で、本人(学生)が親元を離れている場合は、親などが代わって手続きをすることもできます。

また、経済的な理由で保険料を納めることが困難な場合は、一定期間保険料が免除される制度があります。免除されるかどうかは、親元の世帯の収入が基準になります。(表1参照)

免除を受けた期間の保険料は「追納」しましょう

追納できる期間は過去十年以内の期間で、この場合、古い月分から順に納めることになっています。

追納する保険料の額は、免除を受けた当時の保険料額を納めます。ただし、昭和六十一年四月以降の月分については、二年を経過すると一定割合(表2参照)を加算した額を納めなければなりません。

与板警察署の電話番号が変わります

与板警察署の加入電話番号が次のとおり変わります。

▽実施時期
二月一日(火)午前十時~

▽加入電話番号
02588-720110

冬山シーズン到来 遭難事故を起こさないために

冬山登山による遭難を防ぐため、次のことを守りましょう。

- 整備の点検を確実に
- トレーニング・耐寒訓練を十分に
- 単独登山はやめよう
- 時には引き返す勇気をも
- 雪崩に注意を

○登山計画書・登山届の提出